

西区自治協議会第 1 部会 会議概要

(所管分野：防犯・防災、自然環境、住環境等)

令和 2 年度 第 1 0 回会議	
開催日時	令和 3 年 1 月 1 8 日 (月) 午後 3 時～午後 4 時 4 0 分
会 場	西区役所健康センター棟 1 階 1 0 4 ・ 1 0 5 会議室
出席者	委員 風間部会長、高橋伸絵副部会長、伊藤委員、小川委員、橋本委員、高田委員、大谷委員、長澤委員、渡辺委員、櫻井洋子委員 計 1 0 名 [欠席：下川委員、岩沢委員]
	事務局 西区地域課長、西区総務課長、西区区民生活課長、西区建設課長、西区地域課 1 名
主な議事	<p>1 令和 3 年度特色ある区づくり予算 区自治協議会提案事業 「地域課題解決に向けた提案募集事業」</p> <p>(1) 西区内ポイ捨て箇所について (現状や傾向の共有)</p> <p>○きれいで住みやすいまちを目指し、ポイ捨て防止の提案を募集するにあたり、各委員が持ち寄った西区内のポイ捨て箇所について現状と傾向を共有しました。</p> <p>▷ 委員が持ち寄った主な情報は以下のとおり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類としては、ペットボトルや空き缶、生活ごみ (袋ごと) が多い。 ・場所としては、道路の路肩やインター入口、河川敷、水路、公園など多岐に渡っている。 ・傾向としては、1 つごみが捨てられると連鎖的に同じ場所に捨てられる傾向がある。また、雑草があるところに捨てられる傾向もある。住んでいる人ではなく、よその地域の人が捨てているのはいか。 ・その他の現状として、まちなかについては地域の方が清掃活動をしているのできれいになっている。子どもたちが部活動でゴミ拾いをしている姿があり感心した。 ほか </div> <p>(2) 「地域課題解決に向けた提案募集事業」概要について</p> <p>○「提案団体が年々減ってきているという課題」及び「自治協議会と募集团体との間で課題認識のズレが生じるという課題」について意見交換を行いました。</p> <p>○意見交換の結果、募集内容の具体化や広報の工夫に取り組むこととし、テーマの補足説明をどの程度まで具体化するかとともに、提案団体の所在地の要件を緩和するかどうかについて引き続き 2 月の部会で検討を深めることとしました。</p>

その他	<p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none">○西区総務課より、新潟市犯罪発生状況（11月末）についての報告がありました。○次回（第11回）開催について<ul style="list-style-type: none">日時：令和3年2月8日（月）午後3時～場所：西区役所健康センター棟3階大会議室議題：令和2年度区自治協議会提案事業の評価、第7期西区自治協議会の振り返り令和3年度自治協議会提案事業について ほか
-----	---

西区自治協議会第2部会 会議概要

(所管分野：保健・福祉、文化・スポーツ、教育等)

令和2年度 第10回会議

開催日時	令和3年1月19日（火）午後3時45分～午後4時45分	
会場	坂井輪地区公民館5階ホール	
出席者	委員	五十嵐副部会長、田中委員、藤丸委員、木村委員、 田場川委員、加野委員、郷委員 計7名 [欠席：寺瀬部会長、藤橋委員、澤邊委員、神田委員、 櫻井圭子委員]
	事務局	西区健康福祉課長補佐、坂井輪地区公民館長、坂井輪図書館長 西区地域課長補佐、西区地域課 1名
主な議事	1 支え合いの大切さを広める標語の活用について ○前回の部会で検討した標語の使用基準は、事務局が管理することとして今後運用していくこととしました。 ○文化庁への著作権登録や©マークの表示は、より多くの団体や人々から標語を活用いただきたいことから不要とすることとしました。	
	2 令和3年度区自治協議会提案事業 (仮称) 支え合いの大切さを広める標語等活用事業の検討について ○各委員が検討した事業アイデアを述べ、協議の結果、まずは標語を広く知ってもらうためにポスターやシール等の物品を制作し啓発することを中心に事業素案をまとめていくこととしました。 ▷ 委員から出された主な意見は以下のとおり ・制作した物品は、トイレや自治会のごみ収集スペース、バス停等、人の目につく場所に掲示・貼り付けするとよいのではないか。 ・支え手として学生等の若者をターゲットに、Twitterで支え合いの活動に取り組んだ実例を募るような仕組みはできないか。	
その他	3 その他 ○次回（第11回）開催について 日時：令和3年2月9日（火）午後3時～ 場所：西区役所健康センター棟3階大会議室 議題：令和2年度区自治協議会提案事業の評価、 第7期西区自治協議会の振り返り ほか	

西区自治協議会第3部会 会議概要

(所管分野：産業、区の魅力発信、交通等)

令和2年度 第10回会議	
開催日時	令和3年1月18日(月) 午後3時50分～午後5時
会場	坂井輪地区公民館5階 ホール
出席者	委員 岩脇部会長、杉原副部会長、眞柄委員 長谷川委員、佐野委員、原澤委員 計6名 [欠席：山賀副部会長、小泉委員、高橋委員、 澤口委員、永吉委員、坂井委員]
	事務局 西区地域課長、西区地域課 2名 西区農政商工課長、西区農政商工課 1名
主な議事	1 令和2年度 インスタグラムを活用した区の魅力発信について ○前回の部会で委員がインスタグラムで投稿した内容に対する反応等について共有しました。 ▷委員から出た意見は以下のとおり <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムを利用している親族から「いいね」がもらえた。 ・投稿内容が乏しく、前回の部会以降何もしていない。 など </div>
	2 令和3年度 インスタグラムを活用した区の魅力発信について ○「令和3年度 西区自治協議会 区の魅力発信・賑わい創出 インスタグラムを活用した区の魅力発信について たたき台」について、事務局から説明があり、令和3年度の取り組みの方向性をまとめました。 ▷委員から出された主な意見は以下のとおり <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度が委員の改選期であるため、インスタグラムでの情報発信に専門に取り組むワーキングチームを設立してはどうか。 ・西区に興味を持ってもらうため、対象となる西区民にどのような魅力を届けていく必要があるか、よく話し合う必要がある。 ・西区の魅力を発信するアカウントとして「にしくらし」、「(仮称)西区自治協議会」の2つを併用するよりも、1本化する方が良い。 </div>
	3 令和3年度 西区自治協議会提案事業について ○「提案団体が年々減ってきているという課題」並びに「自治協議会と募集团体との間で課題認識のズレが生じるという課題」について意見交換を行いました。 ○提案団体が年々減ってきているという課題に対し、「西区を活動拠点として西区の課題解決のために意欲的に活動できる団体であれば、西区内に在住・在勤・在学という要件を緩和しても良いのではないか」という意見について、2月の部会で検討を深めることとしました。

主な議事	○自治協議会と提案団体との間で課題認識のズレが生じるという課題に対しては、2月の部会で「区の魅力発信・賑わい創出」の課題の整理を引き続き行うこととしました。
その他	4 その他 ○次回（第11回）の開催日程について 日時：令和3年2月12日（金）午後3時～ 場所：西区役所健康センター棟3階 大会議室 議題：令和2年度区自治協議会提案事業の評価、 第7期西区自治協議会の振り返り、 区の魅力の発信手法について ほか

(案)

令和3年度 西区自治協議会

区の魅力発信・賑わい創出～インスタグラムを活用した区の魅力発信～ たたき台

1 目的・趣旨

令和2年度の市政世論調査では、区自治協議会についての情報入手方法という項目で、自治協議会広報紙・チラシなど紙媒体での入手が主なものとなっておりまして。

18歳から29歳では、これら紙媒体での情報収集率が最も低いという結果も見られた。このことから、紙媒体ではなくインターネットで情報収集を行う世代（10代～30歳までの若年層世代）の西区民に、第3部会の区の魅力発信を含む西区自治協議会の活動について、知ってもらう。西区の魅力を発見・再認識することで、西区に定住する人が増えることを目標とする。

2 対象

自治協議会広報紙など既存の情報発信手法では情報が行き届かない10代から30歳までの西区民

3 発信手法

パターン①：個人アカウントを利用

アカウントの取得・投稿内容等を任意事項とし、趣旨に同意いただいた方のアカウントのみを利用する。

パターン②：公式アカウントを利用

<運用開始までの流れ>

運営指針を策定する（第3部会で案作成後、運営会議に諮る）

管理者を決める（第3部会委員）

令和3年度委員に管理を依頼する（委員で行う）

令和2年度試験的に個人アカウントを用いた投稿を行った。令和3年度の運用方針として公式アカウントと個人アカウントどちらを利用するかを検討する段階に至っていない。

4 発信内容

西区自治協議会ならではの視点で西区の魅力を発信する。

5 目標

令和2年度に部会内でのインスタグラムについての認識を平準化した。令和3年度は、その知識をもとにして積極的な投稿を目指す。

パターン①：個人アカウントの場合

「#にしくらし」の他に、西区自治協議会委員だけがわかり、かつ、使用されていない#（ハッシュタグ）をつけて投稿する。

（例えば、「#自 a」「#自 b」など）

年ごとに#（ハッシュタグ）のアルファベットを変えることで、年ごとの投稿を調べやすくするため。

パターン②：公式アカウントの場合

毎月3回の投稿を行う。

毎月の部会で先月の部会から当月の部会までの間に行った投稿内容について、確認・評価を行い、適宜投稿内容の見直しを行う

いいねの数が40件つく投稿を年12件目指す。

6 期待される効果

広報紙では情報が行き届かず、今まで西区に関心を持たなかった区民に関心を持ってもらえる。

西区自治協議会の情報発信ツールとしてSNSが普及する。

SNSの拡散力により、西区民だけでなく、区外・県外にも西区の魅力が広がる。

7 スケジュール

毎月上旬・・・前月の投稿内容について分析

毎月中下旬・・・委員各々で投稿

3月頃・・・年度内に投稿した内容を地図に落とし込んだ

魅力マップを作製

適宜まち歩きなどにより、地域の魅力探しを行う。